

フローレベラー®(天端用)



特長

工期短縮

基礎コンクリート打設から天端仕上げまで1日工程で仕上がります。

優れたレベルング性

レベルング性に優れ、流し込みと簡単なならしだけで仕上がります。

優れた耐久性

「フローレベラー(天端用)」はセメント系ですので、強度・耐久性などの諸物性に優れています。

用途

一般住宅の布基礎天端面の仕上げ

標準仕様

製品荷姿	25kg/袋
練り混ぜ水量	清水7~8リットル
施工厚み	5~20mm
1袋あたりの施工長さ	約14m(厚み10mm、基礎幅12cm)
	約11m(厚み10mm、基礎幅15cm)

物性

試験項目	試験結果	試験方法	
フロー値 [cm]	22.5	JASS 15M-103 (セルフレベルング材の品質基準)による	
凝結時間 [時間・分]	始発		8-30
	終結		12-10
圧縮強度 [N/mm ²]	26.8		
下地接着強度 [N/mm ²]	1.55		

(試験場所: (株)トクヤマエムテック技術部)

標準施工要領

1 コンクリート打設

- コンクリート打設天端面は、できるだけ平滑にし、沈下を考慮した上、「フローレベラー(天端用)」施工厚さが10mm程度となるようにしてください。



2 レベル出し

- 仕上げ面のレベル出しを正確に行います。
 <木製型枠の場合>
 墨出しと釘打ちを行いレベル表示をします。
 <金属型枠の場合>
 マグネットを取り付けレベル表示をします。レベル表示用の釘、マグネットの間隔は、約1mとします。



3 開口部のシール

- 「フローレベラー(天端用)」は、わずかな隙間からでも流出しますので、型枠継目部・換気口枠などの隙間はモルタル等を詰めておきます。

4 混練り

- 混練りはコンクリートの沈下が止まってから行います。
- 混練りの手順として、まず、所定量の水を混練り用のバケツに入れ、電動式ハンドミキサーで攪拌しながら徐々に「フローレベラー(天端用)」を投入し、3分間混練りします。



5 流し込み

- 流し込む前に2~3m間隔で堰板を設置してください。
- コンクリート打設天端面のブリーディング水はスポンジ等で取り除きます。また、金ブラシ等でコンクリート表面の目荒しを行ってください。
- 流し込みはセットしたレベルポイントに合わせて行います。また、打ち継ぎ部分は金鏝でならします。
- 流し込みは、混練り後20分以内で行ってください。



6 養生

- 施工面は、直射日光・雨・風にさらさないようにシート等で覆って養生します。



施工上の注意

1. コンクリート打設後、翌日以降に「フローレベラー（天端用）」の施工を行う場合は次のようにしてください。
打設後：コンクリート打設後、コンクリートの沈下が止まってから、ブリーディング水（浮き水）及びコンクリート表面のゴミ、レイタンス、油等を除去し、表面を目荒らし後、流し込んでください。
翌日以降：コンクリート硬化後、及び翌日以降「フローレベラー（天端用）」を施工する時は事前にコンクリート表面のゴミ、レイタンス、油等を除去し「キープジョン K-100」1：水4の5倍希釈液を塗布、乾燥後施工してください。
2. 「フローレベラー（天端用）」は既調合品です。現場にて他の材料を混入しないでください。
3. 気温が5℃以下の場合は施工を避けるか適当な保温養生を行ってください。



注意事項

■ 応急措置

1. 目に入った場合、絶対に目をこすらずに、速やかに清浄な水で最低15分洗眼した後、医療措置を受けてください。
2. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療措置を受けてください。
3. 吸入した場合は、速やかに新鮮な空気のある場所に移し、咳等がおさまらなければ医療措置を受けてください。
4. 誤って飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。被災者の意識が朦朧としている場合、意識がない場合は、無理に吐かせないで、速やかに医療処置を受けてください。

■ 使用上の注意

1. 気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工してください。
2. 破袋または一度開封して放置された材料は使わないでください。
3. 本製品はセメント製品につき湿気厳禁です。
雨露や直射日光を防ぎ、パレット等を敷き床面から離し、通気の良い場所で保管していただき、製造後3ヶ月までを目安に使用してください。

■ 取扱い上の注意

1. 目・皮膚等への接触をさけるため、適切な保護具（手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等）を着用してください。
2. 取扱い後は顔、手、口等を水洗してください。

■ 輸送上の注意

1. 粉塵のたたない方法で輸送してください。
2. 破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行ってください。
3. 湿気、水漏れに注意してください。

■ 漏出時の注意

1. 回収作業には、手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用してください。
2. 粉塵が飛散しないように注意してください。
3. 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとってください。
4. 飛散したものは掃除機等で吸い取って回収してください。または、スコップ、帚等で集め袋等に回収してください。
5. 付着したものは水で洗浄してください。

■ 廃棄上の注意

1. 残余廃棄物は固化後廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄してください。
2. 洗浄水等の排水は、水質汚濁防止法等の関係諸法令に適合するように十分留意してください。
3. 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理してください。
4. 使用済み容器は産業廃棄物として処分してください。

■ その他

1. その他の必要事項については、製品安全データシートをご覧ください。

■ カタログに関する注意事項

1. 本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
2. 本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
3. 本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。
4. 本カタログは2009年5月に作成しました。

株式会社 トクヤマ エムテック

URL <http://www.k-tokuyama.co.jp>



本社・東日本事業部

103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-2-5 ERVIC人形町6F
TEL 03-5643-3601 FAX 03-3249-3615

関西事業部

573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3
TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125

中国営業所

745-8648 山口県周南市御影町1-1(株)トクヤマ セメント開発グループ2F
TEL 0834-62-7201 FAX 0834-62-7202

西日本事業部

九州営業所

861-0821 熊本県玉名郡南関町大字下坂下4821-1((株)熊本硅砂鋳業内)
TEL 0968-53-9201 FAX 0834-62-7202

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本硅砂鋳業(熊本)

販売店